

技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校
教諭 〇〇 〇〇

1. 日時・場所 平成23年12月〇日（〇）
2. 学年・組 第3学年〇組
3. 単元名 消費者としての自覚を持つ。
4. 本時の目標： 消費者問題について理解し、自分の消費生活を見直すことができる。

	主な学習活動と 予想される反応	指導上の留意点	評価規準
導入	1 前時の学習を簡単に振り返る。 「契約」について、思い出す。	○契約とは買い手と売り手の約束によって成り立つことを思い出す。	
展開	2 悪質商法の種類や特徴をまとめる。	○教科書の P210 ～ P211 を参考に身近な悪質商法の種類や特徴をまとめさせる。	
	3 アポイントメント商法とマルチ商法の実例ビデオを見る。	○説明だけではわかりにくい商法の例を実際に見せる。	
開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 悪質商法にひっかからないためにどのようなことに気を付けなければいでしょうか？ </div>		
開	4 悪質商法にひっかからないための方法を考える。	○少人数グループで考えさせる。 ○生徒の発表の中から注意事項をまとめる。	【知識・理解】 ・悪質商法の手法を理解し、その対応について考えることができる。 (ワークシートの記述)
	5 教科書 P212 ～ P213 の中学生のトラブル例を読む。	○ケース内容を読ませて感想を述べさせる。	
まとめ	6 買い物や契約の際の注意点を参考に消費者としての対応の仕方を考え、発表する。 7 次回の学習内容を確認する。	○授業記録を書かせて、本時の学習を自己評価させる。	【知識・理解】 ・消費者としての対応について理解し、自分の消費生活を見直すことができる。 (ワークシートの記述)

【ICTの活用】
悪質商法の再現ドラマを大型TVで映す。

- ICT活用のねらい：
- ・悪質商法について、イメージのしやすい「再現ドラマ」形式のVTRを視聴させることによって、より深い理解をめざす。
 - ・実際に起こった事を再現ドラマとして取り上げることで身近な問題として関心をもたせ、適切な行動をとることの大切さに気付かせる。